

龍馬が幕末の日本を走る！ ついに薩長同盟、そして大政奉還へ！

幕末のヒーロー坂本龍馬

開国後、外国との戦争を経験した薩摩藩と長州藩。でもこの2藩はめっちゃくちゃ仲が悪かった（「口」III）というの、薩摩藩は幕府に文久の改革をお願いされる程の**"優等生"**。長州藩は勝手に攘夷しちゃう、**"ハミだし者"**。しかも1864年にはそんな長州を懲らしめようと薩摩藩は**禁門の変**で長州と戦争をしているのだ！（;（エ）°）そんな2藩が仲良くなるワケがない。でも、そんな「あり得ない！」をやったのけた男がいた。**坂本龍馬**だ！

龍馬は日本中を西へ東へ駆け回り、薩摩に行って西郷を説得し、長州へ行って木戸を説得し、ついに1866年**薩長同盟**が成立した。



薩摩・長州が手を組んだ。
いよいよ倒幕か？でも、
龍馬の考えは違っていた。

「**早速幕府を倒すでごわす！**」と勢いづく薩摩長州。でも龍馬はこう考えた。

「今、日本国内で争っていたら外国人の思うつぼ。幕府も薩長も協力して新しいニッポンを作るぜよ！」

そして薩長が倒幕の準備を進める中、15代将軍の徳川慶喜に

「**薩長が幕府を倒そうとしているから、降参しちやいなさい！**」

と伝えるのだった。そして慶喜もそれを聞き入れ1867年、ついに政権を天皇に返上する。**大政奉還**だ！ψ（▽）ψ

